

小 学 校

令和5年度

# 教育研究員研究報告書

特別活動

東京都教育委員会

## 目 次

|     |            |    |
|-----|------------|----|
| I   | 研究主題設定の理由  | 1  |
| II  | 研究構想図      | 2  |
| III | 研究の手だて     | 3  |
| IV  | 検証授業及び考察   | 9  |
|     | 〈検証授業1〉    | 9  |
|     | 〈検証授業2〉    | 10 |
|     | 〈検証授業3〉    | 11 |
| V   | 調査研究の結果と分析 | 13 |
| VI  | 研究の成果と課題   | 16 |

## 研究主題

# 他者と関わって、分かり合い、支え合う人間関係を築く児童の育成

～学級活動(1)における、考えや思いの共有と、  
よさを伝え合う活動の積み重ねを通して～

## I 研究主題設定の理由

『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申) (中央教育審議会 令和3年1月26日)によると、我が国の学校教育には一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようその資質・能力を育成することが求められている。

「東京都教育施策大綱」(東京都 令和3年3月)では、子供たちに求められる資質として、「多様な人々が共に暮らす社会においては、(中略)他者を大切にし、お互いを理解、尊重する気持ちを育てることが重要」や、「これまで以上に相手の状況や立場を理解し、共感と思いやりの心を持つことが不可欠」と示されている。

上記のことから、特別活動における学級活動(1)「学級や学校における生活づくりへの参画」(以下、「学級活動(1)」と表記)は、学級としての議題選定や話し合い、合意形成とそれに基づく実践を重視するものであり、課題解決のために重要な内容だと考える。

「他者への理解と尊重」、「協働」といった人間関係形成に関する教育課題を踏まえた上で、本研究では、「他者との関わり」、「分かり合い」、「支え合い」を手掛かりに、研究主題の設定に向けた実態調査を実施した。12項目の実態調査の中から「友達と関わろうとする」ことと「友達のよいところを見付けようとする」ことに正の相関があることが分かり、「友達の気持ちを考える(分かり合う)」ことと「自分と友達の考えや思いを比べる」ことにも正の相関があることが分かった。このことから、他者と関わり、分かり合って、支え合う人間関係を築くためには、友達のよさを見付け、自分と友達の考えや思いを比べることを積み重ねることが手だてになると考えた。

学級活動(1)の学習過程では、自分と友達の考えや思いを比べることは、主に学級会中の活動に位置付いている。具体的な手だてとして、学級会の事前の活動から思いや考えを共有し、学級会中も活用することができるようにする。また、友達のよさを見付けて伝えることは、主に学級会後の振り返りにおいて行う。具体的な手だてとして、互いのよさを伝えたり、友達のために行動したことを記録したりできるようにする。これらの活動を積み重ねることによって、自分のよさを自覚し、様々な場面で他者のために行動するようになり、分かり合って支え合う人間関係を築いていけるのではないかと考えた。以上のことから研究主題を「他者と関わって、分かり合い、支え合う人間関係を築く児童の育成～学級活動(1)における、考えや思いの共有と、よさを伝え合う活動の積み重ねを通して～」と設定した。

## II 研究構想図

### 【共通テーマ】

全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現

### 【今日的な教育課題】

「東京都教育施策大綱」(東京都 令和3年3月)では、子供たちに求められる資質として、「多様な人々が共に暮らす社会においては、(中略)他者を大切にし、お互いを理解、尊重する気持ちを育てることが重要」や、「これまで以上に相手の状況や立場を理解し、共感と思いやりの心を持つことが不可欠」と示されている。

### 【児童の実態】

「他者との関わり」、「分かり合い」、「支え合い」を手掛かりにした本研究の実態調査によると、「友達と関わろうとする」と「友達のよいところを見付けようとする」ことに正の相関があることが分かり、「友達の気持ちを考える(分かり合う)」ことと「自分と友達の考えや思いを比べる」ことにも正の相関があることが分かった。

### 【育てたい児童像】

- 相手のよさを見付け、伝える児童
- 自分のよさを自覚し、他者のために行動する児童

### 【研究主題】

他者と関わって、分かり合い、支え合う人間関係を築く児童の育成  
～学級活動(1)における、考えや思いの共有と、よさを伝え合う活動の積み重ねを通して～

### 【研究仮説】

学級活動(1)において、児童が「意見共有シート」<sup>1</sup>で可視化された友達の考えや思いを踏まえて学級会で話し合い、友達のよさを伝え合う活動を積み重ねれば、自分のよさを自覚して他者のために行動することが増え、児童は互いに支え合える人間関係を築けるだろう。

### 【研究方法】

- |      |                                  |
|------|----------------------------------|
| 調査研究 | 児童の意識や実態を調査し、研究主題の構築や成果と課題を分析する。 |
| 検証授業 | 仮説や手だての効果を検証する。                  |

### 【評価・分析方法】

- 児童の発言、行動観察、「意見共有シート」、「学級会ノート」、「付箋紙」<sup>2</sup>から「児童は自分のよさを自覚し、友達のために行動したか。相手のよさを見付け、伝えたか。」を分析する。
- 検証授業後の実態調査の分析

<sup>1</sup> 「意見共有シート」とは、学級会の前に、互いの意見とその意見に対する考えを共有するものである。

<sup>2</sup> 「付箋紙」は、学級会後や実践後の振り返りの場面で友達のよさを書き、友達に渡す際に活用する。

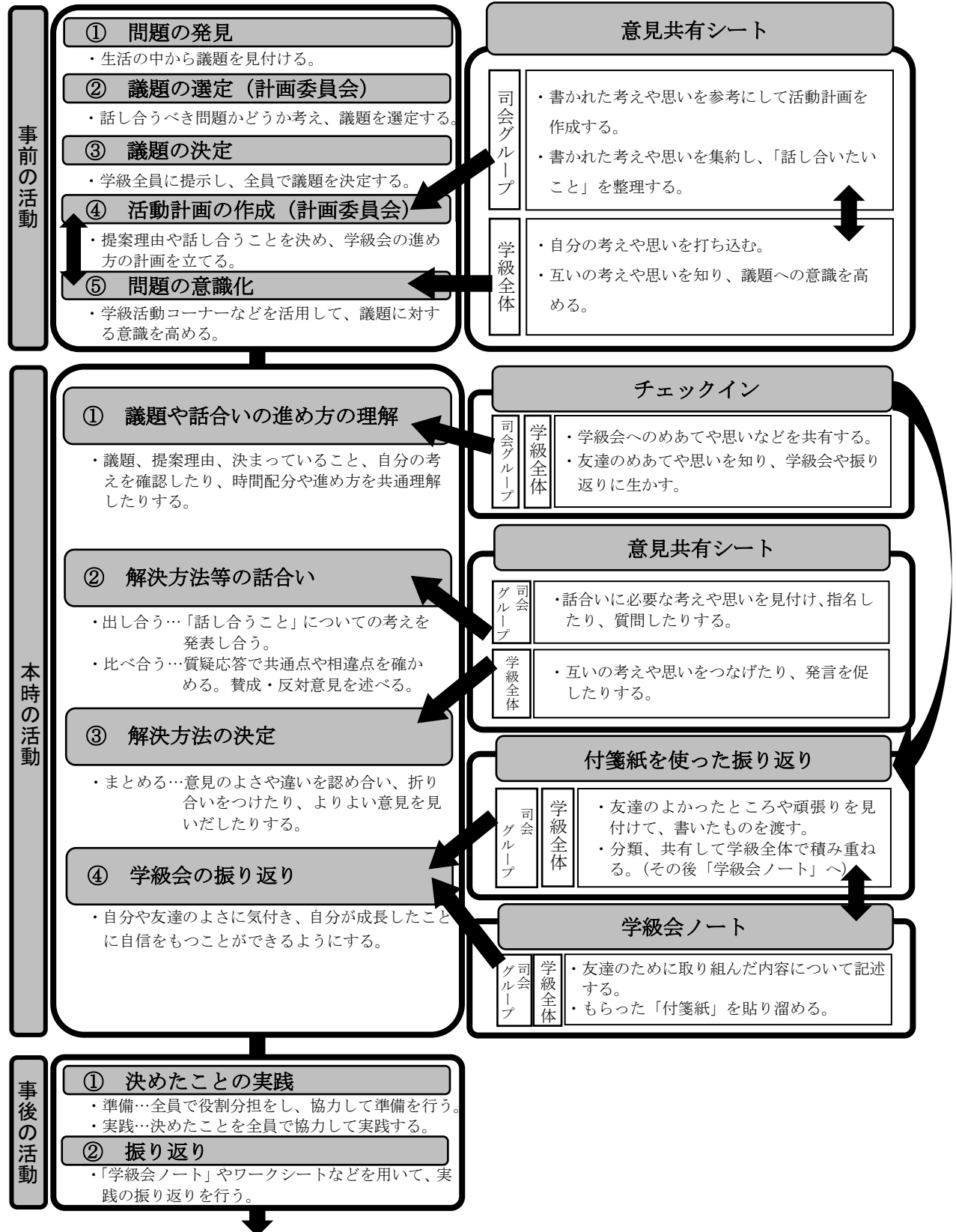
### Ⅲ 研究の手だて

#### 1 一連の学習過程と本研究の手だて

一連の学習過程を通して、「意見共有シート」を中心に、「チェックイン」、「付箋紙」、「学級会ノート」の活用を位置付け、考えや思いの共有と、よさを伝え合う活動を積み重ねていく。

一連の学習過程

本研究の手だて



次の課題解決へ

## 2 「意見共有シート」による考えや思いの共有

### (1) 目的

- ア 友達の考えや思いを知り、自分との共通点や相違点を見付けて、話合いに結び付ける。
- イ 「気になる、解決したい」等の心配意見を共有して、友達の「話し合うこと」に対する考えや思いに寄り添って話し合えるようにする。

### (2) 方法

- ア プレゼンテーションソフトや統合型学習支援サービスなどを使用して、考えや思いを共有する。
- イ 本時の活動（学級会）の前に「話し合うこと」の考えや思いを全体で共有する。共有した後に、心配意見を抽出する。また、心配意見の中で、提案理由に関連する内容を司会グループで整理し、「話し合うこと」のどの場面で解決するのかを確認する。そして、話合いの始めに整理した心配意見を大型投影装置で提示し全体で共有する。

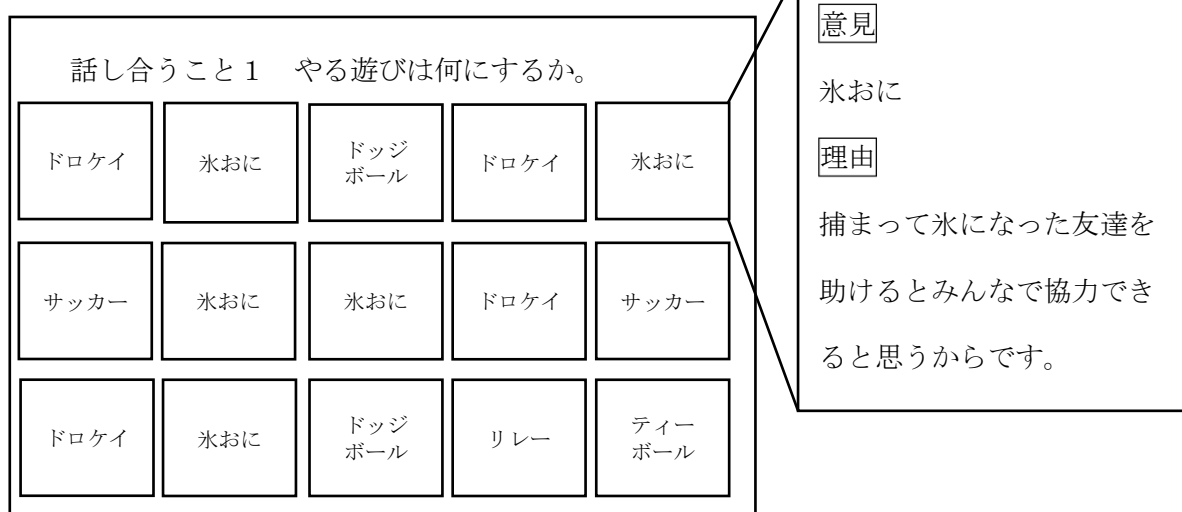
### (3) 留意点

#### ア 司会グループ

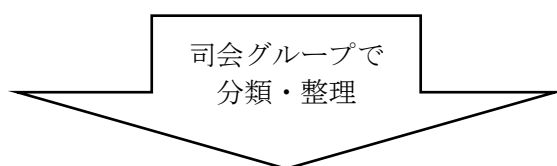
- ・ 「話し合うこと」の考えや思いを分類・整理することを通して、話合いの見通しをもつ。
- ・ 「話し合うこと」について合意形成する前に、心配意見が解決できたか全体で確認してまとめるようにする。

#### イ 学級全体

- ・ 「話し合うこと」の意見の共有を通して、「それについては、Aさんが意見を書いているよ。」など友達の考えや思いを話し合いながら結び付ける。



「図1 意見や考えの共有画面例①」



| 話し合うこと 1 やる遊びは何にするか。 |        |         |      |
|----------------------|--------|---------|------|
| 氷おに                  | 氷おに    | 氷おに     | ドロケイ |
| 氷おに                  | 氷おに    |         | ドロケイ |
| ドッジボール               | ドッジボール | リレー     | ドロケイ |
| サッカー                 | サッカー   | テーパーボール | ドロケイ |

分類・整理を通して、司会グループで話し合いの見通しを立てる例

- ・「氷おに」という意見が多そうだね。
- ・「ドロケイ」も人気がありそうだよ。
- ・どちらも走る遊びだけど、より提案理由に合うものに決めていきたいね。
- ・それぞれの意見の理由を確認しておこう。

「図 2 意見や考えの共有画面例②（分類・整理後）」

(4) 第 3 回検証授業より

ア 議題

学級のルールを、みんなが意識できる掲示物をつくろう

イ 提案理由

今 : 学級内で助け合ったり支え合ったりする姿が少なく、課題だと感じている。

何をする : 協力をしながら、1 学期に決めた学級のルールを、掲示物として作成する。

どうなる : 協力して掲示物の作成をすることで、助け合ったり、支え合ったりする学級に近付くことができる。

ウ 心配意見の共有画面例

| 話し合うことに関する心配意見 |  |  |
|----------------|--|--|
|                |  |  |
|                |  |  |

**意見**

みんなで文字を書いた方がいい。

**心配な理由**

個人で文字を書くのでは、協力にならないと思う。

「図 3 心配意見の共有画面例①」

司会グループで  
提案理由と大きく関連する  
心配意見を整理する。

| 活動の <u>方法</u> や <u>内容</u> への心配意見                    |                                   |
|---|-----------------------------------|
| <u>グループで活動するやり方</u> だと、 <u>グループ以外の人と活動できないのが心配。</u> | <u>手型を作る</u> だけでは <u>協力にならない。</u> |
| <u>手型作りは、助け合ったり、支え合ったりはできない</u> と思う。                | <u>手型を作るのが、苦手な人も</u> いるかもしれない。    |

整理した心配意見は、話し合いの時に大型投影装置で提示する。

「図 4 心配意見の共有画面例②（整理後）」

### 3 「チェックイン」による思いの共有

#### (1) 目的

学級会に向けて友達が頑張ろうとしていること、不安に感じていることを知り、これらの思いを共有することで他者理解を深め、友達を支えようとする態度の育成を図る。

#### (2) 方法

話合いの始めに、一人一人の頑張ろうとしている、不安に感じている思いを口頭、記入したワークシート等で共有する。

#### (3) 留意点

継続して行い、徐々に友達の頑張ったり不安を感じている正直な思いを受け入れられるようにし、話合いの中で、友達のよさや友達との支え合いにつなげていく。

(例)

頑張ろうとしていること

友達と協力して、進められるように意識します。

友達のよいところを見付けたいです。

前回、1回は発表できたので、今日は2回発表したいです。

不安に感じていること

たくさん意見が出ているので、まとまるのか、不安です。

言おうとしているけれど、緊張して言えなくなってしまいそうです。

司会として上手に進められるか、不安です。

### 4 「付箋紙」によるよさの伝え合い

#### (1) 目的

友達から直接自分のよさを伝えられることで、自己肯定感や自己有用感を高め、次の活動で友達のために生かそうとして、支え合う人間関係に近付けるようにする。

#### (2) 方法

ア 話合いで見付けた友達の頑張ったりよさを「付箋紙」に書き、直接本人に渡す。

イ 「付箋紙」を受け取った児童は、書かれた内容が三つの視点※のどれに当てはまるのかを考え、分類・整理する。

ウ 観点ごとに集約された「付箋紙」を一つの画用紙などに貼って学級全体で共有できるように、まとめて撮影したものを掲示する。

エ 掲示されていた「付箋紙」は、次回の活動までに児童に返却し、「学級会ノート」に貼り溜めていく。



オ 貼り溜めた「付箋紙」は、次回以降の振り返り活動や、「チェックイン」で発表する思いを決める際に見返し、生かす。

※ 三つの視点

活動に参加しようとする姿＝「他者と関わり」

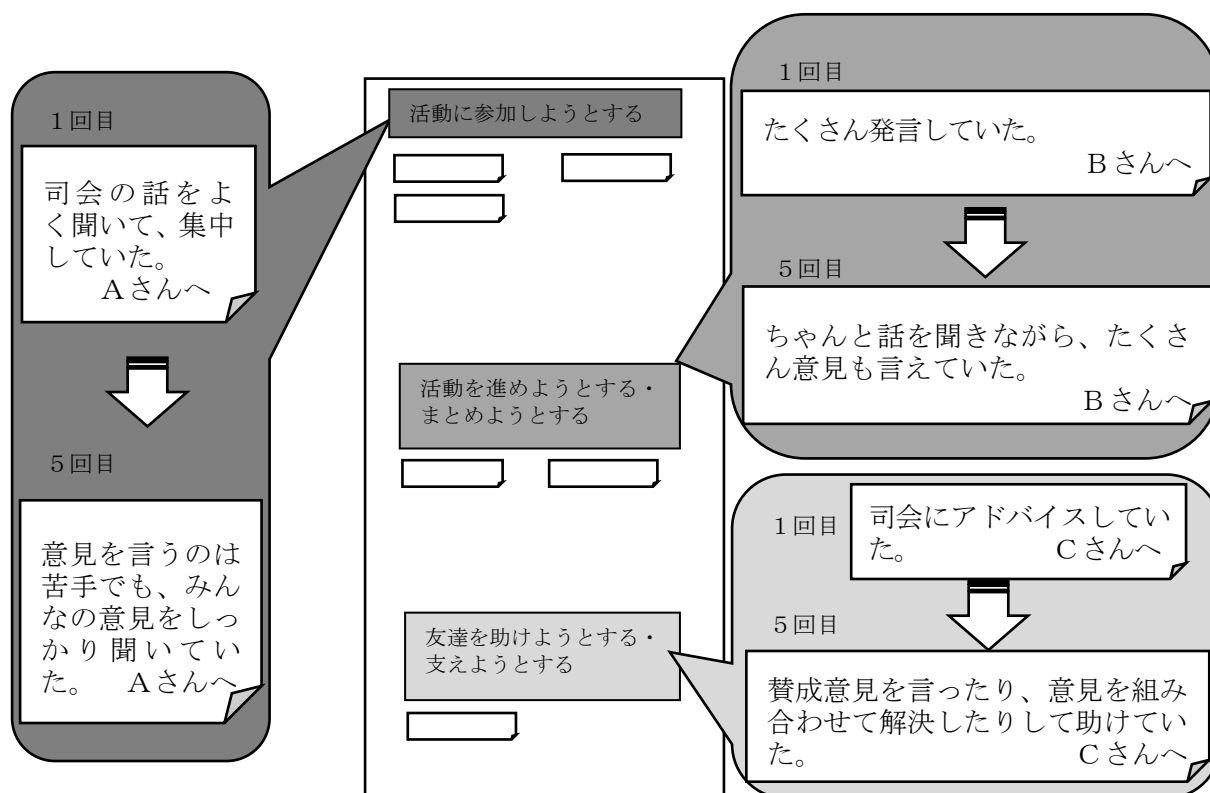
活動を進めようとする・まとめようとする姿＝「分かり合い」

友達を助けようとする姿・支えようとする姿＝「支え合い」

三つに分けることで自分のよさはどのような面であるのかを明確にする。

(3) 留意点

「付箋紙」をもらえない児童がないようにするために、ペアやトリオを組む。



「図5『学級会ノート』に貼り溜めた『付箋紙』の例」

## 5 「学級会ノート」による自分のよさの自覚

(1) 目的

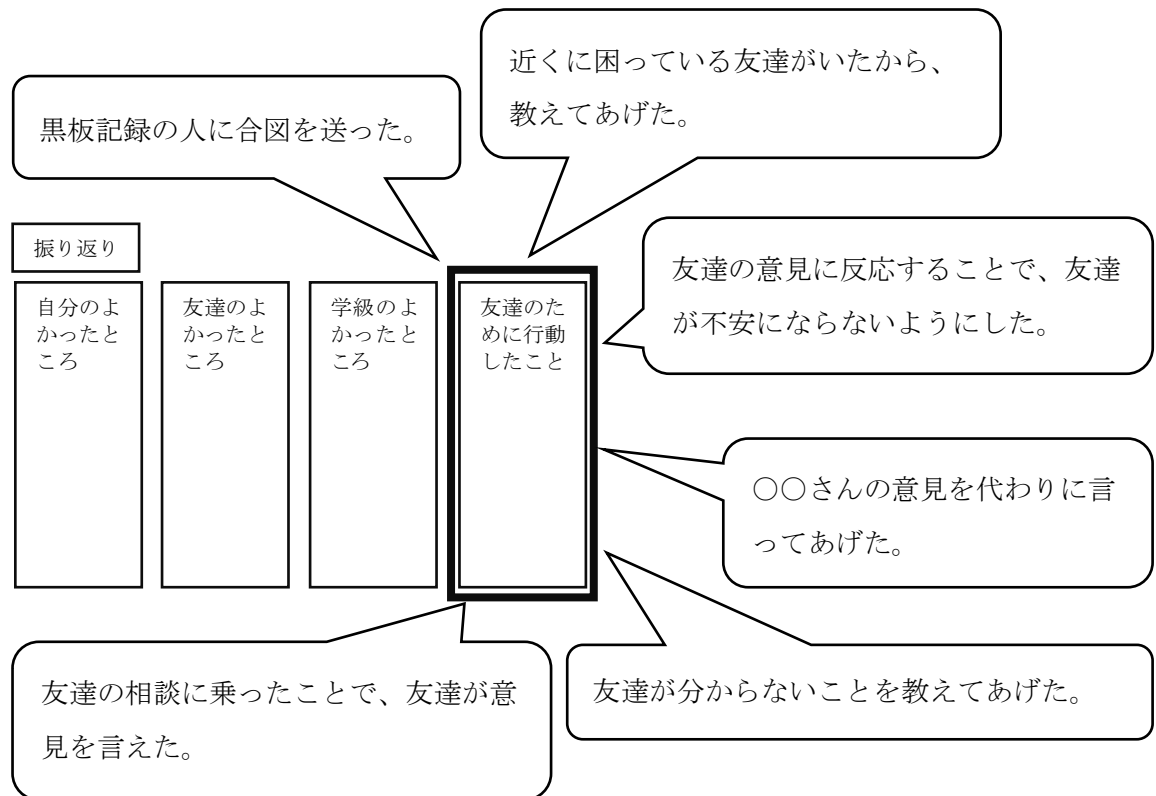
自分のよさを自覚し、そのよさを友達のために生かして支え合えるようにする。

(2) 方法

「付箋紙」に書いてある自分のよさを活動中に生かすことができたかを振り返られるように、「友達のために行動したこと」の項目を設け、積み重ねていく。

(3) 留意点

「友達のために行動したこと」の項目を重要視させて、友達の違いに寄り添った行動が助け合ったり、支え合ったりする関係を築くことにつながっていくことを意識させていく。



「図6 学級会ノートの振り返り」

#### IV 検証授業及び考察

##### 1 <検証授業1>学級活動(1) 第6学年(実践:令和5年9月7日)

|                                  |  |   |  |
|----------------------------------|--|---|--|
| 議 題                              | 「2学期、思いやりながらがんばろう六三会」をしよう  |   |  |
| 内容のまとめ                           | 学級活動(1)「学級や学校における生活づくりへの参画」  |   |  |
| 提案理由                             | 今: 2学期になり仲が深まっているけれど全員ではない。思いやりを意識しているが、実践できているとはいえない。<br>何をやる: 2学期思いやりながらがんばろう六三会<br>どうなる: 全員で思いやりの力を伸ばす。みんなが目的を意識して取り組めるようになる。 |   |  |
| ※<br>第5学年<br>及び<br>第6学年<br>の評価規準 | よりよい生活を築くための知識・技能  | 集団や社会の形成者としての思考・判断・表現   | 主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度   |
|                                  | みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。<br>合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。                                   | 楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践している。 | 楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもって振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。 |
| 本時のねらい                           | 思いやりの力を伸ばし、目的意識をもつ「2学期思いやりながらがんばろう六三会」をするために、集会の内容を考えることができるようにする。   |   |  |
| 話し合うこと                           | 集会でやる遊びを何にするか。気持ちを考え、助ける工夫・ルールについて。役割分担。   |   |  |

|        | ●児童の活動や様子<br>☆学習用端末の活用  | ◎目指す児童の姿【観点】(評価方法)<br>◆友達のことを分かって、支えようとする児童の姿   |
|--------|---|---|
| 事前の活動  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●議題・提案理由を決め、学級で共通理解を図る。</li> <li>☆考えを「意見共有シート」に入力する。</li> <li>☆意見に対して、心配なことがあれば、「意見共有シート」に入力して提出する。</li> <li>●計画委員会で意見の分類・整理や、心配なことの確認をし、話し合いの見通しをもつ。</li> <li>☆「話し合いに向けた思い」を「意見共有シート」に入力する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎◆友達の考えやその理由を知り、見通しをもって話し合いに取り組もうとしている。</li> <li>「〇〇さんが、□□は心配だと言っているから、△△にしたらいいと思います。」</li> <li>「〇〇という意見が多いから、□□という遊びに決まりそうです。だとすると、こんな工夫が出てきそうです。」</li> <li>【主体的態度】(意見共有シート・観察)</li> </ul>  |
| 話し合い活動 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●「チェックイン」、「話し合いに向けた思い」を発表する。</li> <li>●話し合うこと1「集会でやる遊びを決めよう」について話し合い、多様な意見のよさを生かし合意形成を図る。</li> <li>●話し合うこと2「気持ちを考え、助ける工夫」について、多様な意見のよさを生かして合意形成を図る。</li> <li>☆事前に司会グループがまとめた、意見に対する心配なことを大型提示装置に映し、友達の考えを確認しつつ話し合う。</li> <li>●話し合うこと3「役割」を出し合い、役割分担をする。</li> <li>●振り返りを書く。</li> <li>「自分」・「友達」・「次回に向けて」・「友達のために行動できたこと」の観点で振り返る。</li> <li>●ペアの友達のよかったところを「付箋紙」に書き、ペアの友達と直接渡し合う。受け取った「付箋紙」を、三つの観点に沿って分類・整理する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆友達が、どのような思いで話し合いに参加しようとしているのかを、分かってしようとしている。</li> <li>◎◆友達の意見のよさを生かして、「2学期、思いやりながらがんばろう六三会」の内容や工夫について考えている。</li> <li>「〇〇さんが言っていたように、だるまさんが転んだよりもドッジボールの方がいいと思います。」</li> <li>「私は、氷おにがいいと思います。提案理由のとおり、友達を助ける遊びだと思うからです。」</li> <li>「氷おにのタッチの代わりにボールを当てるというルールがいいと思います。クラスの中にはドッジボールをやりたいという人もいたからです。」</li> <li>◎◆友達の気持ちを考え、助ける内容はどれがよいか根拠を明確にしながらか発言したり、友達の意見と比べて聞いたりしている。</li> <li>「〇〇さんが、ボールが当たるのは心配と言っていたので、やわらかいボールならいいと思います。」</li> <li>「ドッジボールは、気持ちを考えることができないという意見ですが、終わった後は負けたチームにも拍手を送ればよいと思います。」</li> <li>【思考・判断・表現】(発言・観察)</li> </ul> |
| 事後の活動  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●2学期、思いやりながらがんばろう六三会を行い、振り返りを行う。</li> <li>●ペアの友達のよかったところを付箋紙で伝え合う活動と、もらった「付箋紙」を分類・整理する活動を、学級会の時と同様に行う。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎友達を思いやり、目的を意識するという集会のめあてを意識して、友達と協力して取り組んでいる。</li> <li>【思考・判断・表現】(発言・観察)</li> <li>◎友達を思いやり、目的を意識するという視点で集会の成果と課題を振り返り、自他の頑張りに気付いたり、次の活動に生かそうとしたりしている。</li> <li>【主体的態度】(学級会ノート)</li> </ul>   |

※ 本議題においては、研究主題との関連により【思考・判断・表現】及び【主体的態度】に重点を置き、評価する。

2 <検証授業2>学級活動(1) 第6学年(実践:令和5年10月4日)

|                                  |   |   |   |
|----------------------------------|---|---|---|
| 議 題                              | 「校内旅行の記録映画」をつくらう  |   |   |
| 内容のまとめ                           | 学級活動(1)「学級や学校における生活づくりへの参画」   |   |   |
| 提案理由                             | 今:小グループでは楽しさを感じ、協力もしているが、学級全体で協力して楽しんだ経験が少ない。<br>何をする:6年間の思い出の詰まった校舎で、校内旅行の記録映画をつくる。<br>どうなる:全員で協力して活動し、みんなでつくり上げる楽しさを感じられるようにする。 |   |   |
| ※<br>第5学年<br>及び<br>第6学年<br>の評価規準 | よりよい生活を築くための知識・技能   | 集団や社会の形成者としての思考・判断・表現   | 主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度  |
|                                  | みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。<br>合意形成の手順や深まりのある話合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。                                     | 楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践している。 | 楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。 |
| 本時のねらい                           | 「全員で協力して、みんなでつくり上げる」を意識した校内旅行の記録映画を作成するために、活動の内容を考えることができるようにする。  |   |   |
| 話し合うこと                           | 校内旅行の記録映画でどんな活動をするか。役割分担。   |   |   |

|       | ●児童の活動や様子<br>☆学習用端末の活用   | ◎目指す児童の姿【観点】〈評価方法〉<br>◆友達のことを分かろう、支えようとする児童の姿   |
|-------|--|---|
| 事前の活動 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●議題・提案理由を決め、学級で共通理解を図る。</li> <li>☆考えを「意見共有シート」に入力する。</li> <li>☆意見に対して、心配なことがあれば、「意見共有シート」に入力して提出する。</li> <li>●計画委員会で意見の分類・整理や、心配なことの確認をし、話合いの見通しをもつ。</li> <li>☆「話合いに向けた思い」を「意見共有シート」に入力する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎◆友達の考えやその理由を知り、見通しをもって話合いに取り組もうとしている。</li> <li>「同じ意見の〇〇さんや〇〇さんの理由も提案理由に沿っていて納得できます。」</li> <li>「□□という意見が多いから、△△に決まりそうです。だとすると、こんな工夫が出てきそうです。」</li> <li>「〇〇さんが、□□は心配だと言っているから、△△にしたらいいと思います。」</li> <li>【主体的態度】〈意見共有シート・観察〉</li> </ul>   |
| 話合い活動 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●「チェックイン」、「話合いに向けた思い」を発表する。</li> <li>●話し合うこと1「校内旅行の記録映画でどのような活動をするか」について話合い、多様な意見のよさを生かして合意形成を図る。</li> <li>●話し合うこと2「役割分担」について話合い、多様な意見のよさを生かして合意形成を図る。</li> <li>☆事前に司会グループがまとめた意見に対する「心配なこと・反対意見」を大型提示装置に映し出し、友達の思いや考えを確認して話し合う。</li> <li>●振り返りを書く。</li> <li>「自分」・「友達」・「次回に向けて」・「友達のために行動できたこと」の観点で振り返る。</li> <li>●ペアの友達のよかったところを「付箋紙」に書き、ペアの友達と直接渡し合う。受け取った「付箋紙」を、三つの観点に沿って分類・整理する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆友達が、どのような思いで話合いに参加しようとしているのかを、分かろうとしている。</li> <li>◎◆友達の意見のよさを生かして、「校内旅行の映画記録」の活動について考えている。</li> <li>「私も□□のシーンがあると△△になってよいと思います。」</li> <li>「〇〇さんが言うように、□□役と△△役があると旅行の雰囲気が出てよいと思います。」</li> <li>「〇〇さんの意見に付け足しで、△△の工夫をするといいと思います。本当に宿泊した気持ちになると思うからです。」</li> <li>◎◆全員で協力して、みんなでつくり上げる活動はどれがよいか根拠を明確にしながら発言したり、友達の意見と比べて聞いたりしている。</li> <li>「〇〇さんが心配していた□□ですが△△すればみんなでつくり上げたことになります。」</li> <li>【思考・判断・表現】〈発言・観察〉</li> </ul> |
| 事後の活動 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●校内旅行の記録映画を制作して、振り返りを行う。</li> <li>●ペアの友達のよかったところを付箋紙で伝え合う活動と、もらった「付箋紙」を分類・整理する活動を、学級会の時と同様に行う。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎◆全員で協力して、みんなでつくり上げるというめあてを意識して、活動に取り組んでいる。</li> <li>【思考・判断・表現】〈発言・観察〉</li> <li>◎全員で協力して、みんなでつくり上げるという視点で集会の成果と課題を振り返り、自他の頑張りに気付いたり、次の活動に生かそうとしたりしている。</li> <li>【主体的態度】〈学級会ノート〉</li> </ul>   |

※ 本議題においては、研究主題との関連により【思考・判断・表現】及び【主体的態度】に重点を置き、評価する。

### 3 <検証授業3>学級活動(1) 第4学年(実践:令和5年11月7日)

|                                  |  |   |   |
|----------------------------------|--|---|---|
| 議 題                              | 学級のルールを、みんなが意識できる掲示物をつくらう  |   |   |
| 内容のまとめ                           | 学級活動(1)「学級や学校における生活づくりへの参画」  |   |   |
| 提案理由                             | 今:学級内で助け合ったり支え合ったりする姿が少なく、課題だと感じている。<br>何をする:協力をしながら、1学期に決めた学級のルールを、掲示物として作成する。<br>どうなる:協力して掲示物の作成をすることで、助け合ったり、支え合ったりする学級へと近づくことができる。 |   |   |
| ※<br>第3学年<br>及び<br>第4学年<br>の評価規準 | よりよい生活を築くための知識・技能  | 集団や社会の形成者としての思考・判断・表現   | 主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度  |
|                                  | みんなで楽しい学級生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。<br>意見の比べ方やまとめ方を理解し、活動の方法を身に付けている。   | 楽しい学級生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図り、協力し合って実践している。 | 楽しい学級生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えを生かし、役割を果たして集団活動に取り組もうとしている。 |
| 本時のねらい                           | 「協力」を意識した掲示物作りをするために、活動の内容を考えることができるようにする。   |   |   |
| 話し合うこと                           | 掲示物をどのように作るか。役割分担。   |   |   |

|        | ●児童の活動や様子<br>☆学習用端末の活用   | ◎目指す児童の姿【観点】〈評価方法〉<br>◆友達のことを分かって、支えようとする児童の姿   |
|--------|--|---|
| 事前の活動  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●議題・提案理由を決め、学級全体で共通理解を図る。</li> <li>☆考えを「意見共有シート」に入力する。</li> <li>☆意見に対して、心配なことがあれば、「意見共有シート」に入力して提出する。</li> <li>●計画委員会で意見の分類・整理や、心配なことの確認をし、話し合いの見通しをもつ。</li> <li>☆「話し合いに向けた思い」を「意見共有シート」に入力する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎◆友達の考えやその理由を確認することで、見通しをもって話し合いに取り組もうとしている。</li> <li>「自分の理由もいいと思うが、〇〇さんや、〇〇さんの理由も、提案理由に沿って納得できます。」</li> <li>「人文字を作るという意見が多く出ているので、この意見を生かして協力できる活動にするために、□□という工夫ができそうです。」</li> <li>「グループで協力するやり方は、□□という心配意見が出ているので、△△という工夫をすると思います。」</li> <li>【主体的態度】〈意見共有シート・観察〉</li> </ul>  |
| 話し合い活動 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●「チェックイン」、「話し合いに向けた思い」を発表する。</li> <li>●話し合うこと1「『協力』できる活動にするために、掲示物をどのように作るとよいか。」について話し合い、理由などを比べ合いながら合意形成を図る。</li> <li>●話し合うこと2「役割分担」について意見を出し合い、役割分担をする。</li> <li>☆事前に司会グループがまとめた、意見に対する心配なことを大型提示装置に映し、友達の考えを確認しつつ話し合う。</li> <li>●振り返りを書く。</li> <li>「自分・「友達」・「次回に向けて」・「友達のために行動できたこと」の観点で振り返る。</li> <li>●ペアの友達のよかったところを「付箋紙」に書き、ペアの友達と直接渡し合う。受け取った「付箋紙」を、三つの観点に沿って分類・整理する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆友達が、どのような思いで話し合いに参加しようとしているのかを、分かってしようとしている。</li> <li>◎◆友達の意見を比べながら、「掲示物」の作り方について考えている。</li> <li>「〇〇さんのグループごとに作るという意見がいいと思います。友達と一緒に作業をして助け合う活動になると思うからです。」</li> <li>「〇〇さんの何人かで人文字を作って、それを写真に撮って貼るといい意見がいいと思います。文字を作るときに協力できるからです。」</li> <li>◎◆協力して作成する掲示物の作り方はどれがよいか理由を明確にしながらか言したり、友達の意見と比べて聞いたりしている。</li> <li>「グループ以外の人と活動できないのが心配という意見がありますが、グループごとに完成したものを協力して、助け合って組み合わせればよいと思います。」</li> <li>【思考・判断・表現】〈発言・観察〉</li> </ul> |
| 事後の活動  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●学級のルールを書いた大きな掲示物を作成する活動を行い、振り返りを行う。</li> <li>●ペアの友達のよかったところを「付箋紙」で伝え合う活動と、もらった「付箋紙」を分類・整理する活動を、学級会の時と同様に行う。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎◆協力して作るというめあてを意識して、活動に取り組んでいる。【思考・判断・表現】〈発言・観察〉</li> <li>◎全員で協力して作るという視点で活動の成果と課題を振り返り、自他の頑張りに気付いたり、次の活動に生かそうとしたりしている。</li> <li>【主体的態度】〈学級会ノート〉</li> </ul>  |

※ 本議題においては、研究主題との関連により【思考・判断・表現】及び【主体的態度】に重点を置き、評価する。

#### 4 検証授業の考察

学級会において他者と関わり合い、分かり合う手だてとして、「意見共有シート」を活用し、児童の考えや思いを事前の活動から共有できるようにした。また、他者と支え合う手だてとして、「学級会ノート」の振り返りに、「友達のために行動できたか」という項目を加えた。さらに、「付箋紙」を交換する時間を設定し、互いのよさを認め合えるようにした。

##### (1) 検証授業の成果

ア 一人1台の学習者用端末を活用した「意見共有シート」に、事前に意見を入力することで、話し合いで自分の意見を伝えることができた。また、「意見共有シート」を使って事前に意見に対する賛成・反対の意思表示をしておくことで、計画委員会はどのように話し合いを進めていくか想定するようになり、それらを共有することで、学級全体で話し合いの見通しをもつことができた。また、話し合いを「比べ合い」から始めることにより、児童が話し合う時間を確保することにもつながった。

イ 「意見共有シート」に学級会に向けた思いを入力し、「チェックイン」として学級会の始めに発表することで、「〇〇さんは、『発言が苦手だから意見を言えるか心配です。』と言っていたけれど、発言していて成長できていたと思います。」のように、学級会に向けた思いと話し合いでの言動を関連付けながら、友達のよさに気付ける児童がいた。また、全員が発言をする機会となるため、その後の話し合いの際にも意見を言いやすい雰囲気を作ることができた。

ウ 振り返りの際に、「友達のために行動できたこと」を「学級会ノート」に記録することで、「前は、友達のために行動できなかったから、今回は友達を助けたいです。」と「チェックイン」で発言する児童も現れ、友達を支えようとする意識をもたせることができた。「付箋紙」の交換による互いのよさを認め合う時間を設定することにより、自覚していなかった自分のよさを友達に見付けてもらうことができた。また、「いつも、『意見が言えてよかったよ。』などと言われることが多いので、話し合いに役立つ意見を言えるようにしたいです。」のように、単に発言するだけでなく、発言の内容をよりよくしようとする児童が増えた。

##### (2) 検証授業の課題と改善策

ア 児童が自分のよさを自覚し、友達のために行動する姿を話し合いの中で見取ることが課題であるため、児童の「学級会ノート」への振り返りや「付箋紙」への記入内容の変容から見取っていく。

イ 事前の指導の時間を十分に確保することが難しい学級や、一人1台の学習者用端末の扱いに不慣れな児童が多い学級が「意見共有シート」に入力することに課題がある。「チェックイン」での発表内容は、「意見共有シート」に入力しておくことが効果的ではあるが、実態に応じて、「学級会ノート」にメモしておくなどの適切な方法を選択することが必要である。

## V 調査研究の結果と分析

### 1 調査の概要

#### (1) 実施時期及び目的

ア 9月

研究主題の設定に向けて、「他者との関わり」、「分かり合い」、「支え合い」を手掛かりに児童の実態調査をする。

イ 11月

「他者と関わって、分かり合い、支え合う人間関係を築く児童の育成」ができたか検証する。

#### (2) 調査方法

Web アンケートによる調査（4件法）、「学級会ノート」の記述分析

#### (3) 調査対象

ア 9月

教育研究員の所属する都内公立小学校9校 4、5、6学年児童 1,240人

イ 11月

教育研究員の所属する都内公立小学校9校 部員の担当学級児童 209人

### 2 Web アンケート項目

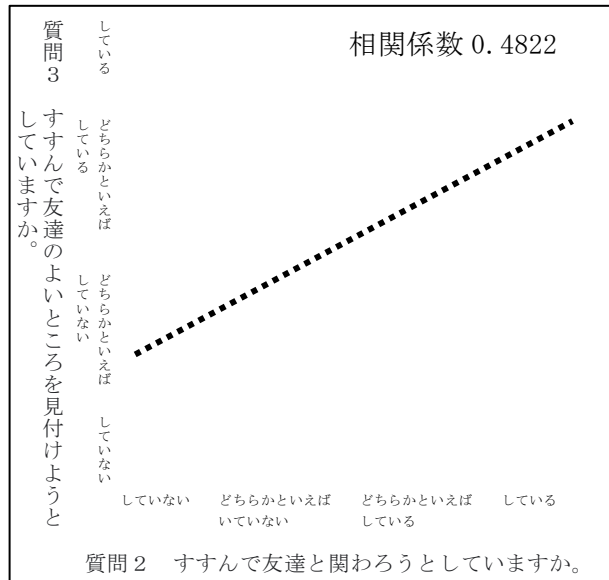
|      |   |
|------|---|
| 質問1  | <u>自分にはよいところがあると思いますか。</u><br>そう思う どちらかといえばそう思う どちらかといえばそう思わない 思わない   |
| 質問2  | <u>すすんで友達と関わろうとしていますか。</u><br>している どちらかといえばしている どちらかといえばしていない していない   |
| 質問3  | <u>すすんで友達のよいところを見付けようとしていますか。</u><br>している どちらかといえばしている どちらかといえばしていない していない                                      |
| 質問4  | <u>友達のよいところを伝えていきますか。</u><br>伝えている どちらかといえば伝えている どちらかといえば伝えていない 伝えていない  |
| 質問5  | <u>自分のよさを生かして、友達のために行動していますか。</u><br>している どちらかといえばしている どちらかといえばしていない していない                                      |
| 質問6  | <u>日頃から友達の気持ちを考えていますか。</u><br>考えている どちらかといえば考えている どちらかといえば考えていない 考えていない   |
| 質問7  | <u>友達と違う考えだったとしても、自分の考えを伝えていきますか。</u><br>伝えている どちらかといえば伝えている どちらかといえば伝えていない 伝えていない                              |
| 質問8  | <u>学級会で、友達の意見と自分の意見を比べて、共通点や違いを考えていきますか。</u><br>考えている どちらかといえば考えている どちらかといえば考えていない 考えていない                       |
| 質問9  | <u>学級会で、よりよい話し合いをするために、司会グループに言葉掛けや行動で働きかけていきますか。</u><br>している どちらかといえばしている どちらかといえばしていない していない                  |
| 質問10 | <u>学級会で友達の意見に賛成したり、付け足したりして、友達の意見のよさを認め、生かしていきますか。</u><br>している どちらかといえばしている どちらかといえばしていない していない                 |
| 質問11 | <u>学級会で、みんなの意見をできるだけ生かして、決めていると思いますか。</u><br>そう思う どちらかといえばそう思う どちらかといえばそう思わない 思わない                              |
| 質問12 | <u>学級会(司会グループ)で、自分の役割を果たすだけでなく、違う役割の友達に声を掛けるなどして、協力して話し合いを進めていますか。</u><br>そう思う どちらかといえばそう思う どちらかといえばそう思わない 思わない |

### 3 研究主題の設定に向けた実態調査（9月）

本研究に関連する教育課題から、「他者との関わり」、「分かり合い」、「支え合い」を手掛かりに、研究主題の設定に向けた実態調査を実施した。全12項目における相関係数を算出し、手だてを講じるための分析を行った。

#### (1) 「他者との関わり」と「よさを見付けること」の関係

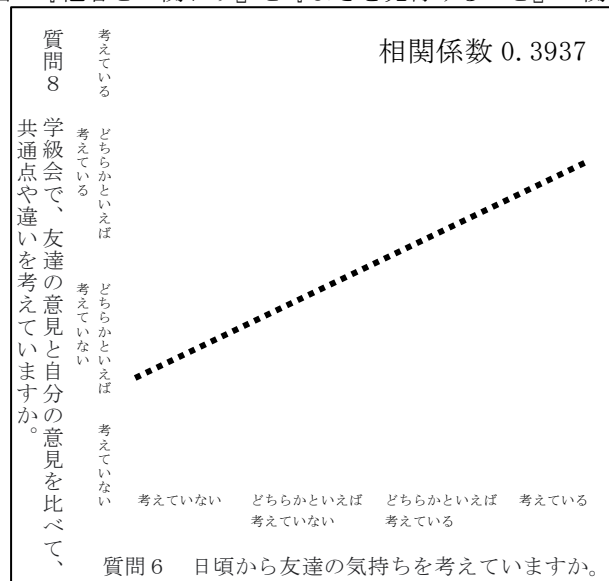
質問12項目の相関関係を調査したところ「質問2 すすんで友達と関わろうとしていますか。」と「質問3 すすんで友達のよいところを見付けようとしていますか。」の回答には、正の相関(相関係数0.4822)があり、全項目との相関係数の平均値0.3753よりも高いことが分かった(図7)。



「図7『他者との関わり』と『よさを見付けること』の関係」

#### (2) 「友達の気持ちを考えること(分かり合い)」と「自分の意見と友達の意見を比べること」の関係

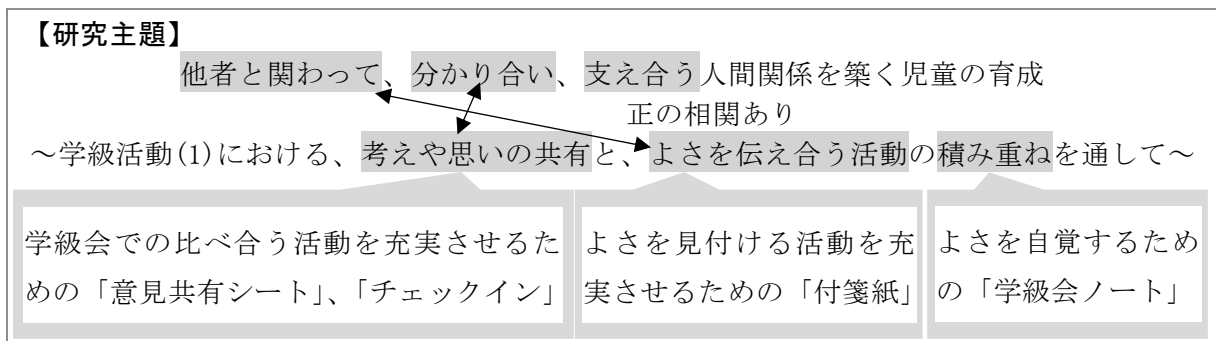
同様に、「質問6 日頃から友達の気持ちを考えていますか。」と「質問8 学級会で、友達の意見と自分の意見を比べて、共通点や違いを考えていますか。」の回答には、正の相関(相関係数0.3937)があり、※全項目との相関係数の平均値0.3693よりも高いことが分かった(図8)。



「図8『友達の気持ちを考えること(分かり合い)』と『自分の意見と友達の意見を比べること』の関係」

#### (3) 考察から研究主題の構築へ

上記の結果より、他者と関わり、分かり合って、支え合う人間関係を築くためには、友達のよさを見付け、自分と友達の考えや思いを比べる活動を充実させ、積み重ねることが手だてになると考えた(図9)。



「図9 調査研究(9月)の考察から構築した研究主題」



#### 4 育てたい児童の姿に関する結果

図 10 のように、育てたい児童の姿に関する項目の中でも特に肯定的な回答をした児童の割合が増加した項目は、質問 2「すすんで友達と関わろうとしていますか。」と質問 5「自分のよさを生かして、友達のために行動できていますか。」と質問 6「日頃から友達の気持ちを考えていますか。」であった。質問 2 では、5 ポイント、質問 5 では、6 ポイント、質問 6 では、5 ポイント増加した。

また、図 11 のように、「学級会ノート」の振り返り欄「友達のために行動できたこと」の項目で、友達への言葉掛けや働き掛けに関する記述をした児童が増えた。

#### 5 育てたい児童の姿に関する分析

「意見共有シート」の記入や「付箋紙」による相手のよさを伝える活動が他者を知り関わり合う機会を増やすことにつながり、その結果、友達との「関わり合い」、「支え合い」、「分かり合い」の手だてとして、有効なことが分かった。

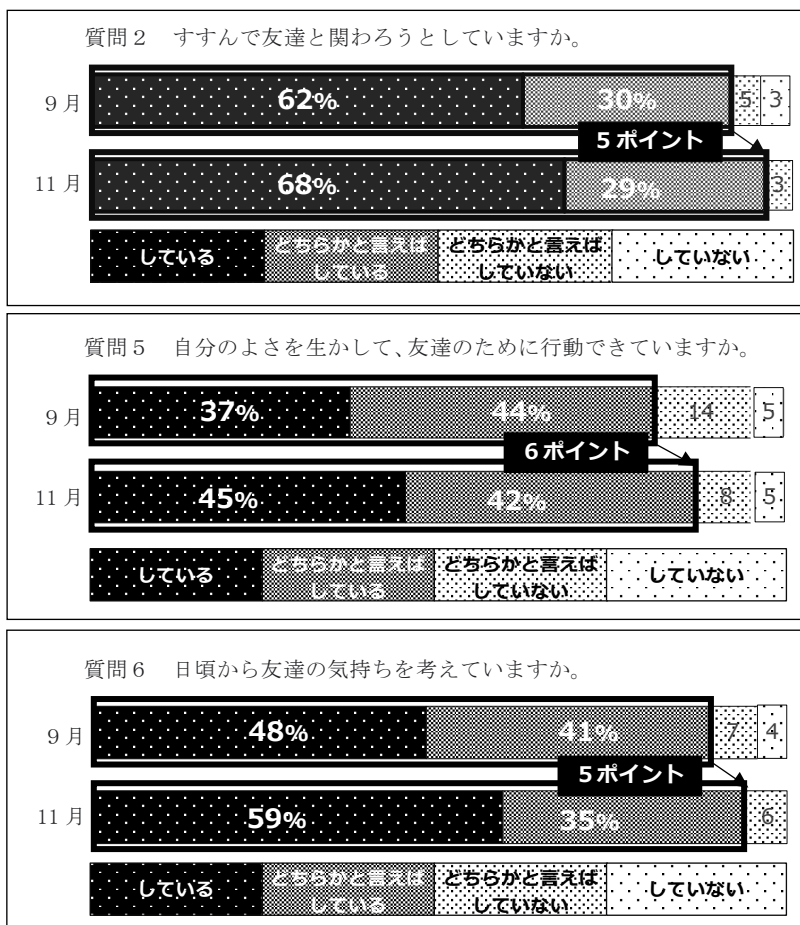


図 10 肯定的に回答をした児童が特に増えた項目

| 『学級会ノート』振り返り欄・『付箋紙』の記述による分析 (所属校児童209人) |  |   |
|---|--|---|
|   | 9月   | 11月   |
| 分かり合い                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>きれいにノートを書いていた。</li> <li>たくさん手を挙げていた。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>相手のよいところに気付けた。</li> <li>タブレットには「発言できるか心配」と書かれていたけど、たくさん発言できていた。</li> </ul> |
| 関わり合い<br>支え合い                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見をたくさん発表できた。</li> <li>司会を頑張った。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>司会に「これはどう？」と助ける発言ができた。</li> <li>友達の意見を代わりに言うことができた。</li> </ul>             |

自分
➡
他者へ

「図 11『学級会ノート』の振り返り欄・『付箋紙』の記述変容」

図 11 のように「学級会ノート」の振り返り欄の「友達のために行動できたこと」に対する内容から記述分析を行った。9月には「司会を頑張った。」や「たくさん意見を言えた。」などの自分の役割やめあてに対する内容が目立ったが、11月では、「『司会にこれはどう？』と助ける発言ができた。」や「タブレットには発言できるか心配と書かれていたけれど、た

くさん発言していてすごかった。」などのように関わり合い、支え合い、分かり合いの視点で書くことができる児童が増えていることが分かった。

つまり、「意見共有シート」や「付箋紙」による関わり合いや分かり合いの手だてを積み重ねることで「友達はどう思っているのだろう。」、「もっと関わろう。」と自分から他者へと意識が向くようになってきた。また、「学級会ノート」による支え合いの手だてにより、自分のよさを生かして友達のためにすすんで友達と関わろう、自分のよさを生かして友達のよいところを見付けようと言葉掛けをする児童が増えたといえる。この結果、「友達のために行動できたこと」に対する振り返りの記述が友達を意識した内容へ変容していったと考えられる。

## 6 調査研究まとめ

調査研究を通して、児童が支え合う人間関係を築いていくための相互理解を深めることや、事前に話し合うことを学級全体で共有し、児童が相互に分かり合う「意見共有シート」や友達のよさを見付け合う「付箋紙」、自分のよさを自覚し、そのよさを友達のために生かせるようにするための「学級会ノート」を効果的に活用することで、友達のために行動する児童が増え、友達と協力して支え合う人間関係を形成しようとする意識が高まったことが分かった。

## VI 研究の成果と課題

### 1 成果

- (1) 「意見共有シート」を活用して「話し合うこと」に対する考えや思いを司会グループも学級全体の児童も事前に共有することで、話し合いの進行計画を立てる際に「どういうことか学級会前にみんなに説明してくれない？」と考えや思いの内容を確認するなど、今まで以上に司会グループと学級全体の児童とのコミュニケーションが増えた。

また、「意見共有シート」を使って事前に出し合った意見に対する賛成や心配などの考えを学級会の計画に生かし、学級会中に大型提示装置で表示するなど、学級全体で共有して話し合うことで、互いの考えや思いを受け止め、一人一人の考えを分かり合おうとする姿が見られた。

- (2) 友達のよさを見付けて「付箋紙」に書いて伝え、友達からもらった付箋紙を「活動に参加しようとする姿」、「活動を進めようとする・まとめようとする姿」、「友達を助けようとする・支えようとする姿」に分類・整理することで、自覚していなかった自分のよさに気付くことができ、友達のために自分のよさを発揮しようとする児童が増えた。

また、振り返りの際に、「友達のために行動したこと」を「学級会ノート」に記録し、教師が価値付けることを積み重ねることで、友達を支えようとする児童を育成することができた。

### 2 課題

- (1) 人間関係の形成を図るに当たって、これまでの指導法に加えて、継続的に教育データを活用することで、学級活動(1)における授業改善を進めることが課題である。
- (2) 「意見共有シート」を問題の発見から振り返りまでの一連の学習過程を通して活用することに向けて、活動場面ごとの効果的な活用方法を提案することが課題である。

## 令和5年度 教育研究員名簿

### 小学校・特別活動

| 学 校 名       | 職 名  | 氏 名   |
|-------------|------|-------|
| 大田区立志茂田小学校  | 主任教諭 | 四本真美  |
| 世田谷区立祖師谷小学校 | 主任教諭 | 小山雅人  |
| 荒川区立第五峡田小学校 | 主任教諭 | 秋山恭子  |
| 葛飾区立南奥戸小学校  | 主任教諭 | 丹治良太  |
| 立川市立第五小学校   | 主任教諭 | ◎細貝俊稀 |
| 多摩市立永山小学校   | 主任教諭 | 梅本卓   |
| 稲城市立稲城第三小学校 | 主任教諭 | 金澤勇輝  |
| 稲城市立若葉台小学校  | 主任教諭 | 河南聡   |
| 瑞穂町立瑞穂第一小学校 | 主任教諭 | 眞田弘之  |

◎ 世話人

〔担当〕 東京都教職員研修センター研修部専門教育向上課  
指導主事 関 聡司

令和5年度  
教育研究員研究報告書  
小学校・特別活動

令和6年3月

編集 東京都教育庁指導部指導企画課  
所在地 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号  
電話番号 (03) 5320-6849